

# 「特色ある教育」を地域とともに支える

## 取組概要

年間を通した稲作体験の場を地域全体で整える。  
姉妹校の見学で交流意欲を醸成する。

## 取り組みの詳細

### 「ふるさと黒保根学」

PTA、学校支援隊、地域が一体となって児童が体験的に学ぶ稲作学習を推進している。年間を通して、種まき・田植え・稲刈り・脱穀・もちつき等の活動を子どもたちと一緒にしながら、ふるさと黒保根の自然や文化の豊かさや人のつながりのすばらしさを感じられる場としている。

現在、学校支援隊はPTAを含む83名となっており、学校を支える活気に満ちている。



稲刈り体験の様子

### 姉妹校を見学



西町フードフェアに参加

本校は、1994年10月より、西町インターナショナルスクールと姉妹校提携をし、交流を継続している。黒保根で田植えや稲刈りを一緒にいたり、本校の児童生徒が西町に出向いて授業交流を行ったりしながら、多様な子どもたちとの交流機会、実践的な英語活用場としている。

PTAでは、姉妹校の様子を知る機会として親子参加でのフードフェア日帰り見学を行っている。

## 成果

・コミュニティ・スクールとして、学校、PTA、地域が一体となって活動することで、地域全体で子どもたちを育てる意識が高まっている。

## 課題や今後の取り組み

・小規模特認校制度を利用して町外から通学する児童生徒が半数を超えているため、一体感を醸成するPTA活動を模索していく必要がある。

## その他の取り組み紹介

- 保護者の交流を生み出す工夫として実施したPTA行事
- ・カレー交流会（保護者同士がおしゃべりしながら活動）
- ・星空観察会（夜の活動）

## 主な活動実績

町民との合同行事や地域人材の協力を得て学ぶ体験的な学習では、PTAと地域が一体となって学びの場を整えている。

姉妹校との交流の一環として、「西町フードフェア」へPTAが主導し参加している。

## 基礎情報

団体名

桐生市立  
黒保根学園PTA

全校児童・生徒数

51名

学校の特徴

開校4年目となる義務教育学校である。「確かな学力」「英語教育」「地域理解教育」を三本柱に特色ある学校経営を推進している。特に学校支援隊の協力による体験活動の充実により、郷土への愛情と誇りをはぐくんでいる。

組織構成

役員

会長 1人  
副会長 2人  
書記 3人（教頭2人を含む）  
会計 2人（教職員1人を含む）  
監査 2人（前会長、前PTA本部）  
顧問 2人（校長、前会長）

※小規模校のため、令和7年度より専門部廃止して負担軽減を図った。